

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	メーキング基礎実習 I		授業のねらい  ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。	
担当教員	嶺脇、赤澤、中梶、井上、東海林、多賀谷、中林			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	296時間	単位数	8単位	到達目標
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
備考	実務経験有＝中林(ジュエリーブランドオーナー)、赤澤(ジュエリークリエイター)、嶺脇(ジュエリー作家)中梶(根付作家)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I-1(リング制作)			
	内容	道具加工・糸ノコ切り回し／平打ちリング／甲丸リング リングの最も基本的な形状の平打ちリングと、商品に多く使われる甲丸リングの制作を通し、プロセスや使用する工具について学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-2(覆輪留めリング)			
	内容	覆輪留めリング カボションカットの覆輪留めリングを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-3(爪留めペンダント)			
内容	ファセットカットの爪留めペンダントを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ			
メーキング基礎実習 I-4(彫留め技法)				
内容	彫り留めリング／ピアス 小さな石を留める技法を学ぶ			
メーキング基礎実習 I-5(ヒンジバングル)				
内容	バングル制作 カシメ・ヒンジの構造の理解と制作方法			
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	メーキング造形実習 I		授業のねらい
担当教員	嶺脇、赤澤、中梶、井上、東海林、多賀谷、中林		ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。ジュエリーコンペティションではジュエリーに於ける自己表現のあり方や自己の探求を求める。
対象学年	1年		
必修選択の別	必修		
授業時数	472時間	単位数	
開講期間	2024.4.1～2025.3		到達目標  新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
授業形態	実習		
備考	実務経験有＝中林(ジュエリーブランドオーナー)、赤澤(ジュエリー作家)、嶺脇(ジュエリー作家)、中梶(根付作家)		
授業の計画展開	メーキング造形実習 I-1(WAXリサーチ)		
	内容	ワックス基本リング／ワックスデザインリング WAX造形技法を学び、基本形状リングの制作 テーマからリサーチし、オリジナルリングを制作する WAX原型制作から鑄造方法、仕上げまでのロストワックス技法のプロセス	
	メーキング造形実習 I-2(ブローチ)		
	内容	オーバーレイの制作方法とブローチ金具の取り付け方法を学ぶ	
	メーキング造形実習 I-3(ワイヤーピアス)		
	内容	ワイヤーピアス 具象物をモチーフとし、シルバー線でピアスを制作する	
	メーキング造形実習 I-4(パールジュエリー)		
内容	パールを使用しジュエリーを制作、パールの留め方を学ぶ		
メーキング造形実習 I-5(ジュエリーコンペティション)			
内容	ジュエリーコンペティション 1年間で習得した技法や技術を生かし、オリジナルジュエリーの制作を行う		
メーキング造形実習 I-6(オリジナルストーンリング)			
内容	自身でカットした宝石を留めたリングの制作		
履修上の注意事項			
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト		

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	デザイン実習 I			授業のねらい  ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解、アイデア展開からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	嶺脇、黒沢、田坂			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	208時間	単位数	7単位	到達目標
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることが目標とする。
備考	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)、黒沢(ジュエリー作家)、田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-1(GAD造形ペンダント)			
	内容	デジタル演習(アフィニティデザイン/シェイパー3D)		
	デザイン基礎実習 I-2(デザイントレーニング)			
	内容	デザイントレーニング		
	デザイン基礎実習 I-3(製図の基礎1)			
	内容	dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解 dr6質感表現1/dr7平打ちリング		
	デザイン基礎実習 I-4(企画デザイン)			
	内容	テーマからのデザイン展開		
デザイン基礎実習 I-5(製図の基礎2)				
内容	dr8甲丸リング/dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造			
デザイン基礎実習 I-6(共通講義)				
内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義			
デザイン基礎実習 I-7(製図の基礎3)				
内容	dr12サイドメリング/dr13取り巻きリングの構造			
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	宝石学 I			授業のねらい  宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的特性、処理や合成など)を幅広く習得する。
担当教員	森			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	30時間	単位数	1単位	到達目標  広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学-1(宝石の基礎知識) 内容 宝石の基礎知識			
履修上の注意事項				
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	学校オリジナルテキスト			
参考文献	宝石教室、宝石、ジュエリーコーディネーター検定3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ			授業のねらい  1年次で学んだ基礎造形および基礎技法を踏まえ、更に専門的なジュエリーに於ける表現方法を習得していく。
担当教員	島崎、中梶、黒沢			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	256時間	単位数	8単位	到達目標  新しい技術・素材の加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることが目標とする。
開講期間	2024.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)、中梶(根付作家)、黒沢(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(模刻)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍛造技法・打ち出し技法・WAX造形技法を学び、植物ブローチを模刻する。</li> <li>・金工作家影山公章講師を迎え、金属の加工方法とブローチ金具の構造を学ぶ。</li> </ul>		
	メーキング基礎実習Ⅱ-2(素材の研究)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然素材、人工素材を幅広くリサーチし、さまざまな素材と関わる。表現の可能性だけではなく、素材に合った加工法も合わせて研究する。</li> <li>・荒田朋美講師を迎え、素材を活かしたジュエリー制作の実際を学ぶ。</li> </ul>		
	メーキング造形実習Ⅱ-3(彫りの研究)			
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和彫り技法を使用したジュエリーを制作する。</li> </ul>			
メーキング造形実習Ⅱ-4(コンポジション)				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量産を意識したジュエリーの制作方法を学ぶ。</li> </ul>			
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	メイキング造形実習Ⅱ			授業のねらい  JM基礎実習で培った技術と素材の研究から更に各自のテーマ・コンセプトに合わせて表現方法を発展させていく。
担当教員	島崎、中梶、黒沢			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	512時間	単位数	15単位	到達目標  各自テーマに合わせての新しい素材の加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)、中梶(根付作家)、黒沢(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅱ-1(素材の研究からの発展) 内容 ・MATERIAL RESEARCHで発見したアイデアを発展させ、展覧会で発表するジュエリーを制作する			
	メイキング造形実習Ⅱ-2(構造の研究) 内容 ・テーマをもとに機能・構造を持ったジュエリーを制作する。			
	メイキング造形実習Ⅱ-3(マテリアルクロニクル) 内容 ・素材としての金をリサーチし、導き出したテーマからデザインを展開する。 ・金の特性、加工方法を学ぶ。			
履修上の注意事項	素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、市場性かつ独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			



授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	デザイン造形実習Ⅱ		授業のねらい 指定テーマ、条件に基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。また自身の作品を効果的に伝達するためのビジュアルデザインやWEBデザインを学ぶ。	
担当教員	嶺脇、永尾			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標 設定した作品コンセプトに基づき、ジュエリーの基礎知識を踏まえた上で、実作可能なジュエリーデザインを完成させる。 デジタルでのジュエリーデザインを完成させる。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1(ドローイング)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物・野菜の観察から細密ドローイングを行う</li> <li>・メイキング授業と連動課題</li> </ul>		
	デザイン造形実習Ⅱ-2(立体造形)			
	内容	植物の観察から抽象形態の立体造形を行う		
	デザイン造形実習Ⅱ-3(プランニング)			
	内容	テーマにもとづいたジュエリー企画・提案・デザインを行う		
デザイン造形実習Ⅱ-4(レーザーカット)				
内容	・レーザーカットマシンを使ったジュエリー制作			
デザイン造形実習Ⅱ-5(ポートフォリオ)				
内容	・自己をプレゼンテーションするポートフォリオ制作			
デザイン造形実習Ⅱ-6(ドリル)				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインドリル</li> <li>・図面読解、ハイライトレンダ</li> </ul>			
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	美術史・情報デザイン概論Ⅱ		授業のねらい 国内外の歴史やトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現の基本となる知識を深める。	
担当教員	嶺脇、永尾			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 国内外のデザインのトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現を考察する。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	美術史・情報デザイン概論Ⅱ-1(テーマに基づいたジュエリーデザイン) 内容 宝石鑑定からのジュエリーデザイン			
履修上の注意事項	指定のテーマに対する表現を数多く展開することが重要である。多くの展開から最適なデザインを選択し完成させる			
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			



授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	宝石学Ⅱ			授業のねらい  ダイヤモンドの特性や品質に関する知識を学ぶ。また、ダイヤモンドの鑑定実習を通し、鑑定の流れ、グレーディングレポートの見方を学ぶ。
担当教員	森			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標  ダイヤモンドの品質を見分け、簡易的な鑑定ができることを目指す。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学Ⅱ(ダイヤモンド鑑定実習) 内容 宝石の基礎知識、ダイヤモンド鑑定実習			
履修上の注意事項	ダイヤモンドの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	メイキング造形実習Ⅲ			授業のねらい  2年次までに習得した素材に対するアプローチを発展させ、社会性を持った作品を制作する。また外部での展示会・販売会を通して自己の作品のプレゼンテーション方法を習得する。
担当教員	島崎、中梶、齋藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	768時間	単位数	23単位	到達目標  各自テーマ・コンセプトに合わせての新しい素材の加工法と知識を学び、それに基づいて社会性のある作品を仕上げ、発表・販売することを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)、中梶(根付作家)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅲ-1(技法のリサーチ) 内容 ・2年次に学びきれなかった技法を学ぶ(レール留め・WAX模写・アルマイト加工)。			
	メイキング造形実習Ⅲ-2(展示会に向けたジュエリー制作) 内容 ・テーマ、コンセプトを踏まえたジュエリー制作。			
	メイキング造形実習Ⅲ-3(販売会用商品制作) 内容 ・テーマをもち、量産をふまえた商品デザイン。 ・製造方法、素材選び、価格設定を行う。 ・店頭での接客も行う。			
	メイキング造形実習Ⅲ-4(展示会に向けたジュエリー制作) 内容 ・テーマ、コンセプトを踏まえたジュエリー制作。			
	メイキング造形実習Ⅲ-5(販売会用商品制作) 内容 ・テーマをもち、量産をふまえた商品デザイン。 ・製造方法、素材選び、価格設定を行う。 ・店頭での接客も行う。			
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい  最新のトレンドを知り、そこからジュエリーデザインにつなげる。また、できた作品をプロモーションするために販促物のあり方とその効果を学習する。
担当教員	島崎、永尾			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標  各自設定したコンセプトに基づき、ジュエリーの知識を踏まえた上で、ジュエリー企画を完成させる。また、自身の作品を効果的に伝えるための手段としての販促物についても企画し、確実に仕上げることを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(展覧会企画)			
	内容	・グループ展の企画立案		
	デザイン造形実習Ⅲ-2(レーザーカット)			
授業の計画展開	内容	・レーザーカットマシンを使ったジュエリー制作		
	デザイン造形実習Ⅲ-3(プロモーション)			
	内容	・自分の作品イメージを表現するムービーの制作		
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	美術史・情報デザイン概論Ⅱ		授業のねらい 国内外の歴史やトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現の基本となる知識を深める。	
担当教員	島崎、永尾			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 国内外のデザインのトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現を考察する。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	美術史・情報デザイン概論Ⅱ-1(テーマに基づいたジュエリーデザイン) 内容 宝石鑑定からのジュエリーデザイン			
履修上の注意事項	指定のテーマに対する表現を数多く展開することが重要である。多くの展開から最適なデザインを選択し完成させる			
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	宝石学Ⅲ		授業のねらい  1,2年次に学んだ宝石知識の復習及び、多種に渡るカラーストーンの特徴、品質、市場性についての知識を深める。	
担当教員	森			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	30時間	単位数	1単位	到達目標  多種に渡る色石の特徴、品質、市場性についての知識を習得する。また各鉱物の特性を習得する事で、ジュエリーデザイン、制作に於いて適切にカラーストーンを扱えることを目指す。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学Ⅲ(カラーストーン講義・実習) 内容                   カラーストーン鑑定実習			
履修上の注意事項	カラーストーンの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			